

インデックスを用いた株式市場と株式投資信託の分析

本 多 俊 毅
元 利 大 輔 CMA

目 次

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| 1. 株式市場におけるインデックス | 3. 日本の投資信託のパフォーマンス分析 |
| 2. 日本の株式市場—ファクターリターンの特徴 | 4. インデックスの多様化と投資信託 |

近年、株式市場のインデックスが多様化してきている。この論文では、インデックス、資産価格モデル、投資戦略との関係に注目しながら、日本の株式市場、株式投資信託の特徴について分析し、インデックスを用いた株式投資戦略への含意を検討する。インデックスの多様化により、株式投資戦略の選択肢が広がることが期待され、投資信託や個人投資家の投資行動にも影響を与えることが予想される。

1. 株式市場におけるインデックス

資産市場の動きを描写するために、その市場で取引されている個別資産の値動きを集計したインデックスを用いることが多い。インデックスをみることによってその資産市場の変動の様子を把握できるのはもちろんであるが、各インデックスの構成方法には資産市場に対する考え方や投資戦略が反映されていることも多く、投資の意思決定上

も便利な指標となる。

インデックスには、「インデックス」そのものへの投資が可能であることが求められる。投資対象となるユニバースはある程度の規模や取引量が求められ、かつ経済活動、投資活動の観点からも重要なものが選ばれる。その上で、ユニバースに含まれる銘柄をどのように組み合わせるかというルール、リバランスのタイミングが明確に定められる。インデックスに組み込まれる銘柄の取引量



本多 俊毅 (ほんだ としき)

一橋大学大学院国際企業戦略研究科教授。1990年一橋大学経済学部卒業。97年スタンフォード大学Ph. D.。2012年より現職。



元利 大輔 (もと り だいすけ)

イボットソン・アソシエイツ・ジャパン株式会社 執行役員資産運用部長。2001年慶應義塾大学商学部卒業、同年大和証券株式会社入社。03年イボットソン・アソシエイツ・ジャパン入社、11年より現職。11年一橋大学大学院国際企業戦略研究科専門職学位課程修了。